

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	2020年5月14日
【四半期会計期間】	第27期第1四半期（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）
【会社名】	ユニフォームネクスト株式会社
【英訳名】	UNIFORM NEXT CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 横井 康孝
【本店の所在の場所】	福井県福井市八重巻町25号81番地
【電話番号】	0776 - 43 - 1034(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 吉川 貴之
【最寄りの連絡場所】	福井県福井市八重巻町25号81番地
【電話番号】	0776 - 43 - 1034(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 吉川 貴之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第26期 第1四半期累計期間	第27期 第1四半期累計期間	第26期
会計期間	自2019年1月1日 至2019年3月31日	自2020年1月1日 至2020年3月31日	自2019年1月1日 至2019年12月31日
売上高 (千円)	983,187	899,867	4,714,798
経常利益又は経常損失 () (千円)	41,300	23,631	363,859
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失 () (千円)	26,102	16,695	241,526
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	342,079	346,719	346,719
発行済株式総数 (株)	2,459,962	2,483,162	2,483,162
純資産額 (千円)	1,816,687	1,999,865	2,041,391
総資産額 (千円)	3,064,992	3,012,685	3,140,956
1株当たり四半期(当期)純利益 又は1株当たり四半期純損失 () (円)	10.61	6.72	97.87
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	10.46	-	96.64
1株当たり配当額 (円)	-	-	10.00
自己資本比率 (%)	59.3	66.4	65.0

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。

4. 第27期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の分析

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大した結果、中国経済の減速やインバウンド需要減、外出自粛等の影響を受け、景況感が悪化いたしました。感染収束の見通しが立たない中、先行きについては不透明な状況が続いております。

かかる状況の下、当社は、カタログ配布等による積極的な広告を展開し通販集客に努めるとともに、新受発注システムを2月末にリリースし、ECサイトの利便性向上や更なる接客品質の向上を図り、ユーザー体験の向上に努めてまいりました。また、訪問営業においては、ユニフォームを通じた顧客企業業績の改善をテーマとして、大企業を対象とした提案スタイルを構築し、近県エリアの新規開拓に取組み業績の向上に努めてまいりました。

サービス部門においては、3月度において、新型コロナウイルス感染拡大による、全国的な休業要請や外出自粛により、販売先である商業施設や店舗の業績が低迷した影響を受けた結果、計画を下回る実績となりました。

オフィスワーク部門においては、前半は引き続き暖冬による防寒需要低下の影響が残り、3月度においては、サービス部門同様、感染拡大による企業の活動自粛等の影響を受けた結果、計画を下回る実績となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高899,867千円（前年同期比8.5%減）、営業損失32,461千円（前年同四半期は営業利益39,268千円）、経常損失23,631千円（前年同四半期は経常利益41,300千円）、四半期純損失16,695千円（前年同四半期は四半期純利益26,102千円）となりました。

財政状態の分析

（資産）

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ128,271千円減少し、3,012,685千円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ120,821千円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が98,853千円増加したものの、現金及び預金が270,454千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ7,449千円減少いたしました。これは主に、有形固定資産の減価償却11,025千円によるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ86,745千円減少し、1,012,819千円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べ57,006千円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が114,417千円増加したものの、未払法人税等が74,093千円、未払消費税等が減少したことによりその他が65,160千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ29,738千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が26,238千円、ポイント引当金が3,377千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ41,525千円減少し、1,999,865千円となりました。これは主に、四半期純損失16,695千円及び剰余金の配当24,830千円によるものであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期累計期間において、当社が定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当社は、事業運営上必要な流動性と資金の源泉を安定的に確保することを基本方針としており、主な資金需要は、人件費及びリスティング広告等の広告宣伝費などの営業費用であります。

短期運転資金は自己資金を基本としており、設備投資や長期運転資金の調達につきましては、金融機関からの長期借入を基本としております。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	7,400,000
計	7,400,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年5月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,483,162	2,483,162	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数 100株
計	2,483,162	2,483,162	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年1月1日～ 2020年3月31日	-	2,483,162	-	346,719	-	316,719

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,482,300	24,823	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 862	-	-
発行済株式総数	2,483,162	-	-
総株主の議決権	-	24,823	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には当社所有の自己株式66株が含まれております。

【自己株式等】

2020年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ユニフォームネクスト株式会社	福井県福井市八重巻町25号81番地	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

(注) 上記のほか、単元未満株式66株を所有しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,411,166	1,140,712
受取手形及び売掛金	138,507	237,360
商品	299,805	346,760
貯蔵品	843	779
その他	12,060	15,987
貸倒引当金	55	94
流動資産合計	1,862,329	1,741,507
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	815,152	807,706
構築物(純額)	43,674	42,629
機械及び装置(純額)	19,150	17,854
車両運搬具(純額)	1,174	982
工具、器具及び備品(純額)	12,131	11,085
土地	216,779	216,779
有形固定資産合計	1,108,062	1,097,037
無形固定資産		
ソフトウェア	12,526	122,377
その他	114,500	1,159
無形固定資産	127,027	123,536
投資その他の資産	43,537	50,604
固定資産合計	1,278,627	1,271,177
資産合計	3,140,956	3,012,685
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	148,517	262,935
電子記録債務	229,557	177,161
1年内返済予定の長期借入金	104,952	104,952
未払法人税等	75,788	1,694
賞与引当金	36,500	56,726
その他	258,327	193,167
流動負債合計	853,643	796,636
固定負債		
長期借入金	228,448	202,210
ポイント引当金	13,581	10,204
長期末払金	3,893	3,769
固定負債合計	245,922	216,183
負債合計	1,099,565	1,012,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	346,719	346,719
資本剰余金	350,988	350,988
利益剰余金	1,343,839	1,302,313
自己株式	156	156
株主資本合計	2,041,391	1,999,865
純資産合計	2,041,391	1,999,865
負債純資産合計	3,140,956	3,012,685

(2)【四半期損益計算書】

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	983,187	899,867
売上原価	613,768	573,503
売上総利益	369,419	326,363
販売費及び一般管理費	330,150	358,824
営業利益	39,268	32,461
営業外収益		
受取利息	1	0
受取補償金	-	8,400
祝金受取額	1,420	-
その他	1,012	708
営業外収益合計	2,433	9,109
営業外費用		
支払利息	401	279
営業外費用合計	401	279
経常利益	41,300	23,631
税引前四半期純利益	41,300	23,631
法人税、住民税及び事業税	19,818	152
法人税等調整額	4,620	7,088
法人税等合計	15,198	6,936
四半期純利益	26,102	16,695

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費	12,538千円	20,920千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月27日 定時株主総会	普通株式	24,598	20	2018年12月31日	2019年3月28日	利益剰余金

(注)当社は、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、2018年12月31日を基準とする配当につきましては、株式分割前の株式数を基準とした金額を記載しております。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月25日 定時株主総会	普通株式	24,830	10	2019年12月31日	2020年3月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ユニフォーム販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失()	10円61銭	6円72銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失() (千円)	26,102	16,695
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	26,102	16,695
普通株式の期中平均株式数(株)	2,459,896	2,483,096
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	10円46銭	-
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	
普通株式増加数(株)	36,498	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月13日

ユニフォームネクスト株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高野 浩一郎

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石橋 勇一

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているユニフォームネクスト株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの第27期事業年度の第1四半期会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、ユニフォームネクスト株式会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。